

<平成30年度 ハローオリピズム事業>

# オリンピック教室

実施報告書

兵庫県 神戸市立横尾中学校





平成21年4月の学習指導要領の改訂以来、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが明確化されています。その中で、中学校3年生の保健体育の「体育理論」の学習内容には、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」とオリンピックの意義が明示されています。そこで、JOCでは、体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施しております。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表として実際にオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められており、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことのできない感動が生まれることを期待しております。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）及びオリンピック精神の教育的価値等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身に学習してもらうこともねらいとしております。

また、「スポーツ基本法」の前文の一部には、「スポーツは、世界共通の人類の文化であり、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである」との記述があります。生徒のみなさんが「オリンピック教室」で学習することで、この基本法に記された精神や態度が日常生活の中で具現化され、生涯にわたってスポーツに親しむことができるようになることを願っています。

- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）  
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 平成30年4月～平成31年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 60校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目  
運動の時間 (50分)



2時限目  
座学の時間 (50分)



※学校の通常の授業時間をベースに実施  
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります

## 1時限目

### 運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、  
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備体操（10分）

主運動（30分）

まとめ（5分）



自己紹介  
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動  
（作戦タイム等を設け、  
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

## 2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、  
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に  
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると  
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後活かせるような学習内容

### 座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用  
した自己紹介



オリンピック自身の経験に  
基づく「オリンピックの価値」等  
を伝える



グループ（個人）ワークで  
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

# 実 施 内 容

■期 日 : 平成31年2月7日 (木)

■ク ラ ス : 2年3組 (31名)

■オリンピアン : 佐伯 美香 先生 (バレーボール・ビーチバレーボール) 【出場オリンピック/アトランタ大会、シドニー大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (1時限)

## 1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・自己紹介の後、東京2020大会も開催されることから、オリンピックや「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」の3つオリンピックバリューをより身近に感じてほしいと授業の目的を確認。
- ・準備体操として、じゃんけん勝ち抜けを全2回と、ボールキャッチを実施。

## 2. 準備体操



## 3. 主運動



- ・6班対抗でバレーボールのパス回しを2分間×全3回実施。



## 4. まとめ



- ・「全力で取り組む」「協力する」「助け合う」の3つの約束事を実践できたかを確認。チームスポーツでは、自分の持っている力をしっかり発揮すること、協力すること、上手くいかなかった時に助け合って取り組むことが大切であること。目標を設定することの重要性等、運動の時間の経験から得られたものは今後の学校行事や色々な場面で活かしてほしいと伝え、授業終了。



■ 授業のながれ：座学の時間（2時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



2. オリンピックの価値を伝える



・オリンピックシンボルマークや五大陸について。また自身のオリンピックバリューについて、エクセレンス：「卓越」「全力」「ベストを尽くす」「頑張る心」「自分の可能性を信じて挑戦する」、フレンドシップ：「友情」「協力」「チームワーク」「仲間を大切に」「コミュニケーション」、リスペクト：「敬意／尊重」「助け合い」「感謝」と説明。

3. グループワーク



発問：夢や目標を実現するために、今後どのように取組んでいくかを具体的に考え3つのオリンピックバリューに当てはめてみよう。  
 発表：「希望校に合格するため、全力で勉強に取り組む」「難しい問題も解けるよう日々努力する」(エクセレンス)  
 「仲間と協力しよう」「わからない問題を教えあう」「仲間とのコミュニケーション」「チームワークを大切に」(フレンドシップ)  
 「周囲を見て行動する」「授業態度を改める」「部員と一緒にプレーできることに感謝」「メンバーへの思いやりを持つ」(リスペクト)

4. まとめ



・オリンピックバリューは皆の日常生活の中にもあることが分かったのではないかと。夢や目標等を発表してもらったが、やってみたことを言葉にして周りに伝えることも大切である。その結果、責任感と達成しなければいけないという気持ちが生まれ、それを知った周りの人たちも応援してくれるようになる。夢や目標を実現するには努力が必要で、その過程において思うようにいかないこともあると思うが、自分を信じて、周りの人に感謝することを思い出し、夢や目標を実現できるように頑張ってほしい。最後に質疑応答を行い、スパイクの強い打ち方と緊張について、自身の経験を踏まえて、アドバイスを送り、授業終了。

# 実施内容

■期 日：平成31年2月7日（木）

■ク ラ ス：2年1組（30名）、2年2組（31名）

■オリンピアン：新谷 志保美 先生（スケート/スピードスケート）【出場オリンピック/バンクーバー大会】

■授業のながれ：運動の時間（3時限、5時限）

## 1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・自己紹介の後、皆と一緒にオリンピックの価値(オリンピックバリュー)について学んでいきたいと授業の目的を確認。その後、運動の時間の約束事として「全力で取り組む」「協力して取り組む」「話をよく聞き、ルールを守る」の3点を設定した。
- ・ストレッチを行った後、押し相撲、引き相撲、片足相撲、しっぽ取りを個人戦と団体戦で行った。

## 2. 準備体操



## 3. 主運動



- ・8の字跳びを全3回実施。2班ずつ3チームに分かれて、引っ掛かっても続きから回数を数え、90秒間に跳べた回数を競う。

## 4. まとめ



- ・運動の時間の約束事として設定した「全力で取り組む」「協力して取り組む」「話をよく聞き、ルールを守る」の3点を振り返り、皆がしっかりと実行できていたと称える。これらはオリンピックバリューとも深く結び付いているものであり、詳しくは座学の時間に改めて説明したいと予告し、授業終了。

■ 授業のながれ：座学の時間（4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・「協力」「全力」「ルールを守る」という3つの約束は、オリンピックバリューに結び付くと説明。
- ・自身のオリンピックバリューについて、エクセレンス：「卓越」「全力」「あきらめない」「ベストを尽くす」「一生懸命頑張る」「努力する」、フレンドシップ：「友情」「協力」「チームワーク」「仲間」「お互いを理解する」、リスペクト：「敬意/尊重」「ルールを守る」「思いやり」「感謝」「フェアプレー」と説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



- 発問：運動の時間に感じたことや工夫したこと等を、3つのオリンピックバリューに当てはめて具体的に考えてみよう。
- 発表：「目標を立てて全力で努力する」「前回の反省を活かし取り組む、工夫する」「目標を高く設定する」(エクセレンス)  
 「声をかける」「役割分担」「チームで協力し、励ましあうこと」「お互いを高めあうこと」(フレンドシップ)  
 「ルールを守って取り組んだこと」「上手な班の真似をする」「仲間への思いやり」「1人ではできず皆と一緒にできたことに感謝」(リスペクト)

4. まとめ



- ・中学生時代、学校にスケート部がなかったため、陸上競技部に所属し、部活動を終わってからスピードスケートの練習に取り組み、忙しい日常を送っていた。諦めずに努力し続けることができたのは、好きなことだからであり、皆も好きなことを見つけ充実した学生生活を送ってほしい。スポーツに限らず、やりたいことをやるためには、両親や学校の先生等、周りに支えてくれる人がいることを忘れずに感謝の気持ちを持つこと。感謝等、心に思うだけではなく良い言葉を口にする習慣をつけておくことで、周りの人達も協力してくれるようになる。オリンピック教室で学んだことを思い出し、夢の実現に向けて全力で取り組んでほしいと伝え、授業終了。

■ 集合写真  
2年1組



2年2組



■ 集合写真  
2年3組



■ 記念品贈呈  
2年1組



2年3組



2年2組



■ 修了証贈呈

